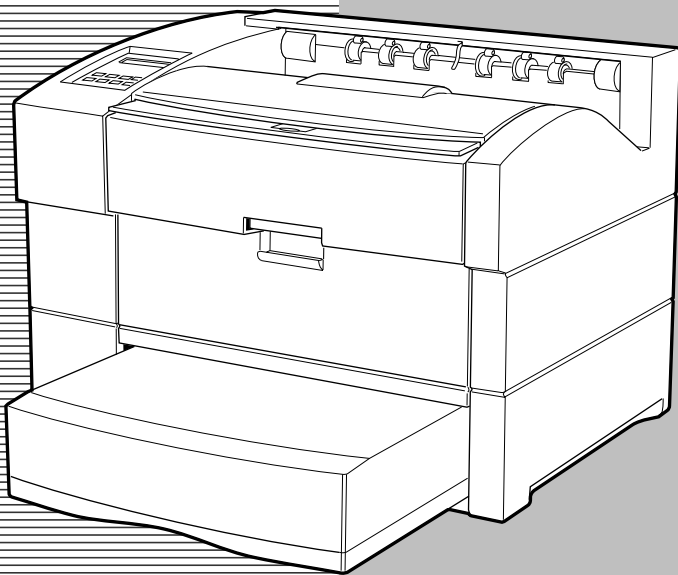


基本操作 編

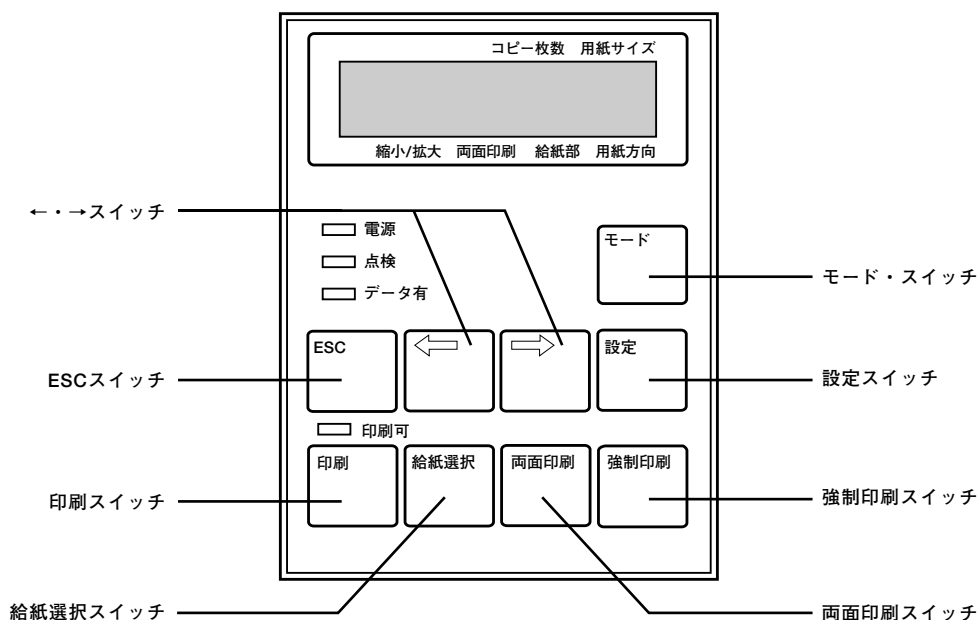


操作パネルの使いかた

操作パネルには、メッセージが表示されたり、設定を行ったりする液晶表示部と、各種の印刷操作のためのスイッチやランプがあります。各スイッチのはたらき、ランプや液晶表示部の見かたを説明します。

スイッチの使いかた

各スイッチは、印刷の際のいろいろな操作やメニューで設定を行うときに使います。



モード・スイッチ

メニューを使って各種設定を行うモードに切り替えます。メニューでの設定を終了するときにも、このスイッチを押します。

⇒ 「モード設定の基本操作」(P.97)

データ有ランプが点灯/点滅しているときには、使用できません。



ESCスイッチ

モード設定時、メニューを使って各種設定を行う際に、1つ前の状態に戻すはたらきをします。

⇒ 「モード設定の基本操作」(P.97)

印刷不可状態で押した場合の機能については、⇒ 「印刷取消要求」(P.172)



←・→スイッチ

モード設定時、メニューを使って各種設定を行う際に、選択したい項目を表示するのに使用します。

⇒ 「モード設定の基本操作」(P.97)



設定スイッチ

モード設定時、メニューを使って各種設定を行う際に、選択した項目を設定するのに使用します。

⇒ 「モード設定の基本操作」(P.97)



リセット・スイッチ

(ESCスイッチを押しながら設定スイッチを押す)

リセットを行います。リセットを行うと、電源をOFFにして続いてONにしたのと同じ状態になり、強制的に印刷を取り消し、受け取り済みのデータを消去し、各設定値を初期値に戻します。

⇒ 「リセット、印刷の取り消しをするには」(P.59)



印刷スイッチ

印刷可能状態と、印刷不可状態を切り替えます。押すたびに、印刷可ランプの点灯（印刷可能）と消灯（印刷不可）が切り替わります。

また、アラーム音が鳴っているときには、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。



給紙選択スイッチ

現在の給紙部を切り替えます。押すたびに、給紙部（前面給紙トレイ、第1給紙カセット、第2給紙カセット、第3給紙カセット）を示す液晶表示部の給紙項目表示が切り替わります。

⇒ 「給紙部を選ぶ」(P.46)



両面印刷スイッチ

両面印刷の指定をします。

- ・データ有ランプが点灯／点滅しているときには使用できません。
- ・オプションの両面給紙ユニットが装着されている場合のみ有効です。
- ・両面印刷の出力の綴じ方向（長辺綴じ、短辺綴じ）は「詳細設定」で設定します。

⇒ 「両面綴じ方向」(P.144)

両面印刷は、A4、B4、A3、レター、リーガル用紙の場合のみ可能です。



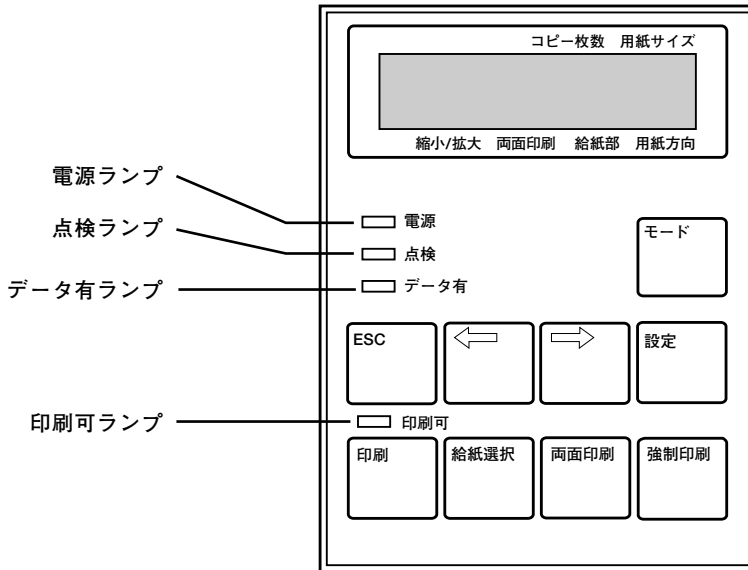
強制印刷スイッチ

プリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

⇒ 「残ったデータを強制的に印刷するには」(P.58)

データ有ランプが点滅しているときには、使用できません。

ランプの見かた



電源

電源ランプ

プリンターの電源が入っているときに点灯します。

点検

点検ランプ

次のときに点灯し、点灯と同時に液晶表示部に状態を示すエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容によって、原因を判断し対処してください。

- エラーが発生したとき
⇒ 「エラーメッセージが表示されたとき」(P.180)
- 用紙がなくなったとき、および紙詰まりが起きたとき
用紙の補給方法については、⇒ 「給紙カセットに用紙をセットする」(P.16) および「前面給紙トレイに用紙をセットする」(P.44)
- EPカートリッジのトナーが少なくなったとき
⇒ 「EPカートリッジを交換する」(P.87)

MEMO

EPカートリッジのトナーが少なくなった場合は、このままの状態です印刷を続けると、印字が薄くなったり、印刷されない箇所ができたりします。ただし、EPカートリッジを取り出して左右に振ってみると、再び印刷できるようになることがあります。

左右に振っても、印刷状態がよくなる場合には、トナーが残っていません。新しいEPカートリッジに交換してください。

・上面カバーが開けられたとき

⇒ 「詰まった用紙を取り除く」(P.60)

□ データ有

データ有ランプ

プリンターがデータを受け取り、印刷するまでの間、点滅します。印刷終了後に消灯します。

印刷終了後もデータが残っている場合には、点灯状態になります。この場合には、強制印刷スイッチを使って強制印刷することができます。

強制印刷については、「残ったデータを強制的に印刷するには」(P.58)で説明しています。

□ 印刷可

印刷可ランプ

印刷可能状態のときに、点灯します。このランプが消灯していると、印刷できません。電源をONにしたばかりのときには、印刷可能状態になるまで、このランプが点滅状態になります。

印刷スイッチを押すと、点灯（印刷可能状態）と消灯（印刷不可状態）を切り替えることができます。

・点灯(印刷可能状態)

液晶表示部には「インサツ カノウ」と表示されます。システム・ユニットからデータが送られてくると、受け取って印刷を行います。

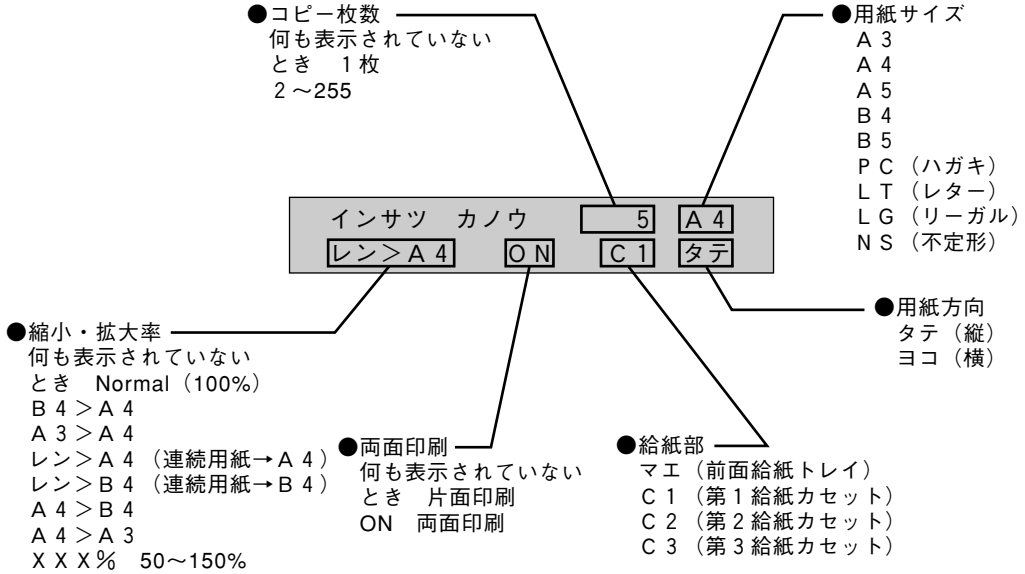
・消灯(印刷不可状態)

システム・ユニットからデータが送られても、受け取りません。

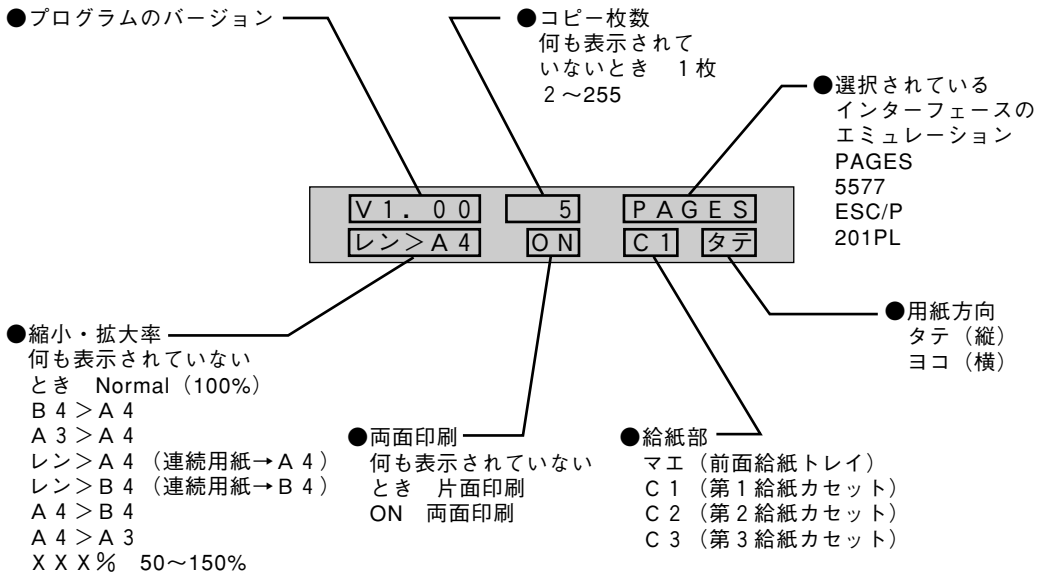
液晶表示部の見かた

液晶表示部には、次のような情報が表示されます。

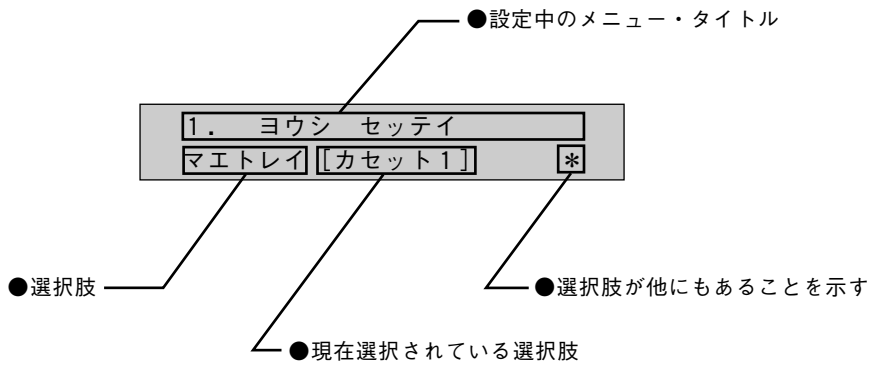
印刷可能状態



印刷不可状態



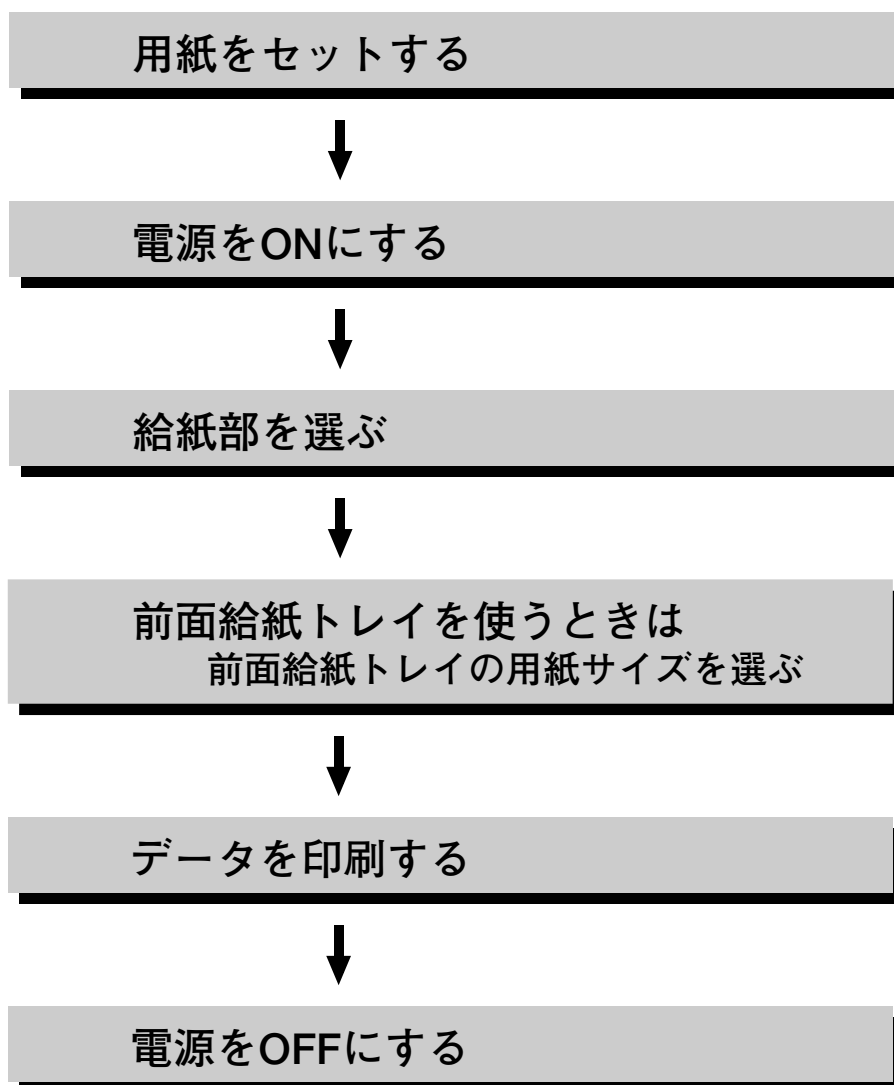
モード設定



基本的な印刷手順

通常、システム・ユニットから送られてきたデータをプリンターで印刷するときには、次のような手順で行います。

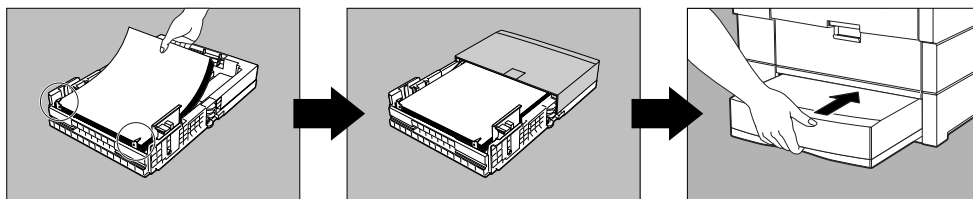
印刷手順の流れ



用紙をセットする

用紙は、給紙カセットまたは前面給紙トレイにセットします。

給紙カセットに用紙をセットする



給紙カセットへの用紙のセット方法については、設置編で詳しく説明しています。

⇒ 「給紙カセットに用紙をセットする」(P.16)

使用できる用紙や、セットできる枚数など、用紙についての詳細

⇒ 「付録A 用紙について」(P.194)

給紙カセット

ガイド・クリップの位置を変更することにより、A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガルの各サイズの用紙が500枚セットできます。

セットする用紙の量は、横ガイド・クリップ内側の「用紙上限」の表示位置を超えないようにしてください。

給紙カセットをセットする給紙ユニットを増設することができます。

詳しくは、「給紙部を選ぶ」(P.46)を参照してください。



A4、A5、B5、レターサイズの用紙は必ず横向きにセットしてください。

前面給紙トレイに用紙をセットする

前面給紙トレイには、幅88mm×長さ148mmからA3までの各サイズおよび不定形用の紙がセットできます。



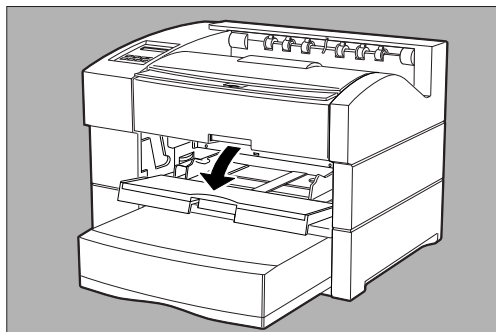
A4、A5、B5、レターサイズ用の紙は必ず横向きにセットしてください。ただし、用紙を不定形としてセットする場合は除きます。

操作の手順

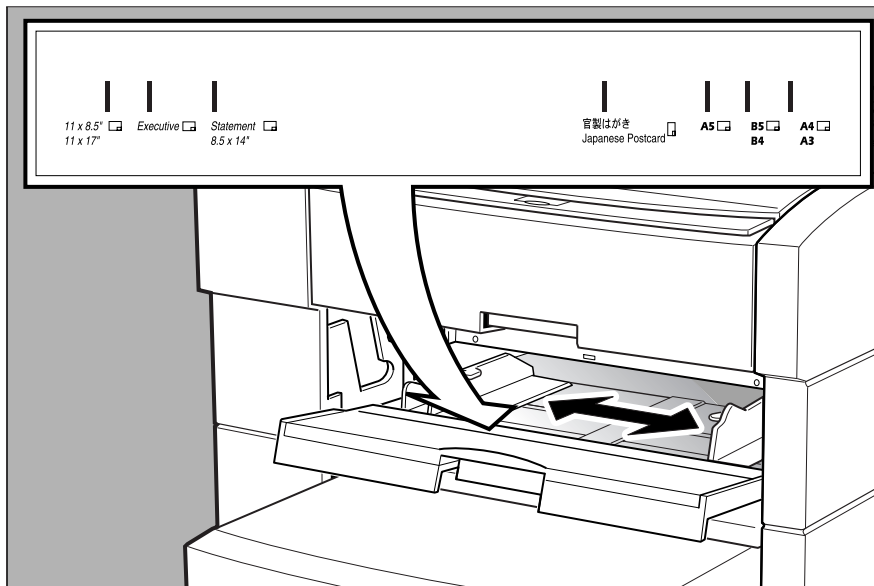
- 1 プリンター前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、前面給紙トレイを開きます。



前面給紙トレイは、約80°の角度に開きます。前面給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たい物を載せないでください。破損の原因になります。

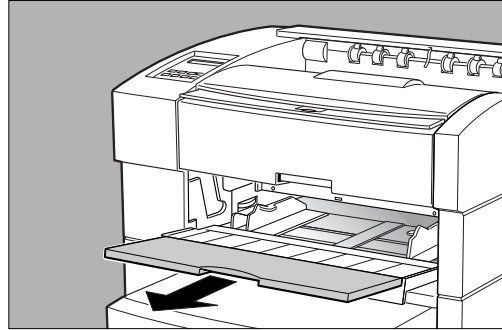


- 2 用紙ガイドを、これから使用する用紙サイズの見盛りに合わせます。



3

前面給紙トレイからはみ出す大きさの用紙をセットするときは、延長前面給紙トレイを引き出します。

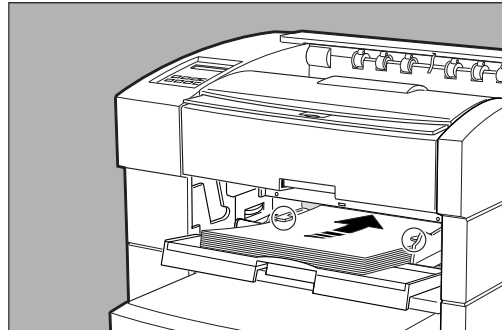


4

用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。



折り目やしわの入った用紙は使用しないでください。
最大収容枚数(約150枚)以上の用紙を載せないでください。



MEMO

A4サイズ以下の用紙を横向きにセットするときなど、前面給紙トレイから用紙がはみ出さない場合は前面給紙トレイカバーを閉じて使用することができます。

前面給紙トレイにセットできる用紙枚数

推奨用紙	150枚
官製ハガキ	75枚
ラベル用紙	30枚
OHP用紙	90枚

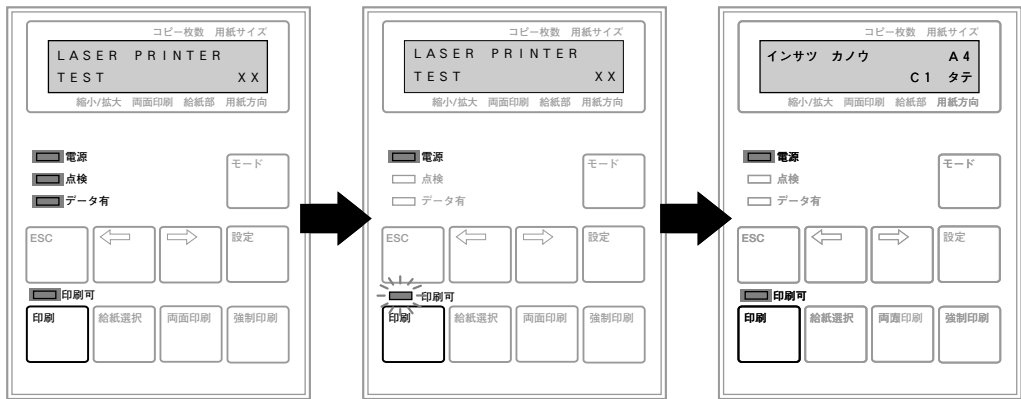
電源を入れる

用紙がセットできたら、電源を入れて、システム・ユニットからのデータを印刷します。

操作の手順

- 1 電源スイッチのON (|) 側を押し、電源を入れます。

操作パネルのランプが次のように変化します。



まず、すべてのランプが順次点灯します。次に、印刷可ランプが点滅します。

最後に、印刷可ランプが点灯し、液晶表示部に上のようなメッセージが表示され、データを受信できる状態(印刷可能状態)になります。

給紙部を選ぶ

操作パネルを使って、給紙部(どこから給紙するのか)を選択します。給紙部の初期値(電源を入れたときの設定値)は、出荷時には第1給紙カセットに設定されています。

インサツ カノウ A4
C1 タテ

MEMO

添付のプリンター・ドライバーを使用する場合や給紙部を選択できるアプリケーションをご使用の場合は、プリンターで給紙部を選ぶ操作は必要ありません。

給紙カセットを使うとき

別売の給紙ユニットを増設していない場合は、給紙部を選ぶ操作は必要ありません。

別売の給紙ユニットが増設されていて、増設された給紙ユニットから給紙したいときは、目的の給紙カセットを選びます。

⇒ 「用紙の設定」(P.105)

前面給紙トレイを使うとき

前面給紙トレイを使うときは、給紙部を前面給紙トレイ[マエ]に設定します。



電源を入れる際、前面給紙トレイに用紙がセットされている場合は、いったん用紙を取り出して、電源を入れた後に用紙をセットしてください。

操作の手順

1

給紙選択スイッチを押して、[マエ]を表示させます。

給紙選択スイッチを押すたびに、液晶表示部の給紙項目の表示が順に切り替わります。

プリンターがエラー状態だったり、印刷データが残っている状態や印刷処理中の場合には、給紙選択スイッチは操作できません。このような場合には、エラー状態を解除したり、強制印刷またはリセットを行ってください。

エラー状態を解除する方法 ⇒ 「異常時の診断」(P.176)

強制印刷 ⇒ 「残ったデータを強制的に印刷するには」(P.58)

リセット ⇒ 「リセット、印刷の取り消しをするには」(P.59)



- 2** 印刷スイッチを押します。
印刷可能状態になります。



初期値を変更する

給紙部の初期値を変更した場合には、電源スイッチを切っても変更した設定値が有効になります。

操作の手順

- 1** 給紙選択スイッチを押して、使用する給紙部を表示させます。

給紙選択スイッチを押すたびに、液晶表示部の給紙項目の表示が順に切り替わります。

プリンターがエラー状態だったり、印刷データが残っている状態や印刷処理中の場合には、給紙選択スイッチは操作できません。このような場合には、エラー状態を解除したり、強制印刷またはリセットを行ってください。

エラー状態を解除する方法 ⇨ 「異常時の診断」(P.176)

強制印刷 ⇨ 「残ったデータを強制的に印刷するには」(P.58)

リセット ⇨ 「リセット、印刷の取り消しをするには」(P.59)



2

設定スイッチを押しながら給紙選択スイッチを押します。

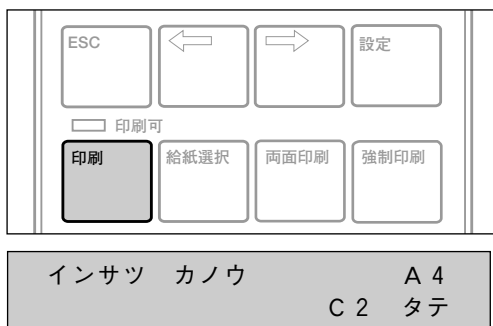
メッセージが表示され、給紙部の初期値が設定されます。



3

印刷スイッチを押します。

印刷可能状態になります。



前面給紙トレイの用紙サイズを選ぶ

前面給紙トレイを使って印刷する場合のみ、ここでの操作を行います。

操作パネルを使って、前面給紙トレイで使用する用紙のサイズを選択します。

用紙サイズを変更する方法には、一時的に変更する方法と、初期値を変更する方法があります。

選択できる用紙サイズは、次のとおりです。

サイズ	用紙をセットする方向
A3 B4 リーガル	縦置き方向にセット
A4 レター B5 A5	横置き方向にセット
ハガキ	縦置き方向にセット
フテイケイ (不定形：上記以外のサイズ)	サイズによって縦または横置き方向にセット

A3、B4、ハガキ、リーガルを選択した場合には、前面給紙トレイに用紙を縦置き方向にセットしてください。

A4、A5、B5、レターを選択した場合には、用紙を横置き方向にセットしてください。

「フテイケイ」の場合には、設定した用紙サイズの縦／横に合わせて用紙をセットします。設定可能な範囲は、横が88～297mm、縦が148～420mmです。

操作の手順

- 1 モード・スイッチを押して、モード設定に入ります。

表示が右のようになります。

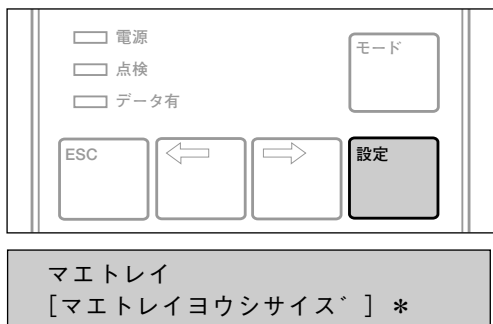


** セッテイ コウモク **
1. ヨウシ セッテイ

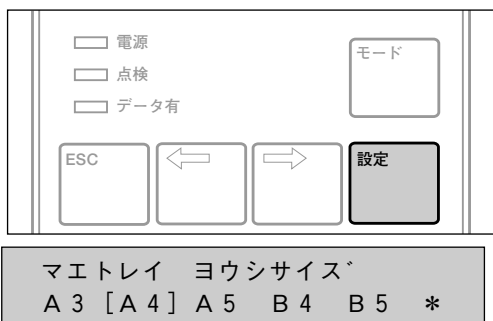
2 設定スイッチを押します。
表示が右のようになります。



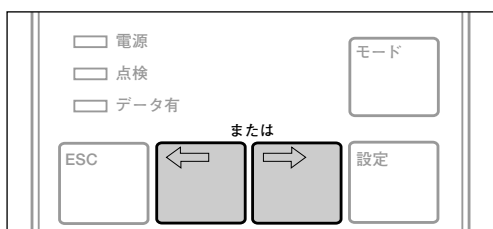
3 設定スイッチを押します。
表示が右のようになります。



4 設定スイッチを押します。
表示が右のようになります。
[] で囲まれているのが、現在選択されている用紙サイズです。



5 ←スイッチまたは→スイッチを押し、用紙サイズを選択します。



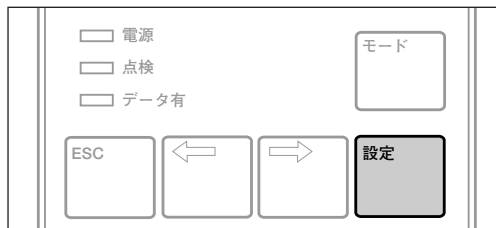
「フテイケイ」を選択した場合には、この後の手順が異なります。手順5からは、『「フテイケイ」(不定形)を選択した場合』(P.53)を参照してください。

「フテイケイ」以外の用紙サイズの場合

6

設定スイッチを押します。

用紙サイズが設定され、手順1の表示に戻ります。



** セッテイ コウモク **
1. ヨウシ セッテイ

7

モード・スイッチを押します。

表示が右のようになります。



セッテイ ヲ ホソ[〃] ンシマスカ?
[スル] シナイ イチジ[〃] ホカン

8

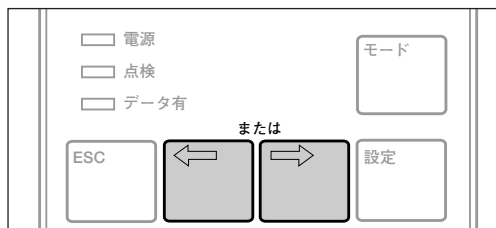
←スイッチまたは→スイッチを押し、設定値の保存方法を選択します。

[スル] : 初期値がいま設定した内容に変更されます。

[シナイ] : いま設定した内容が取り消されます。

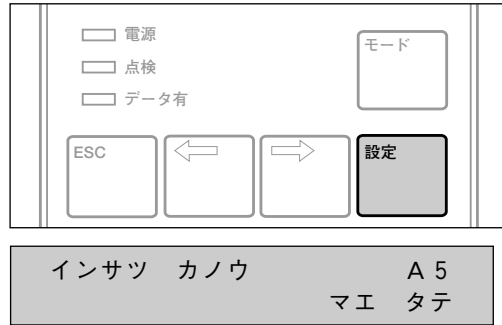
[イチジホカン] : 電源スイッチを切るか、リセットするまで、いま設定した内容で印刷されます。いったん電源スイッチを切ったり、リセットした後は、初期値に戻ります。

⇒ 「リセット、印刷の取り消しをするには」
(P.59)



9

設定スイッチを押します。
設定が終了し、印刷可能状態に戻ります。

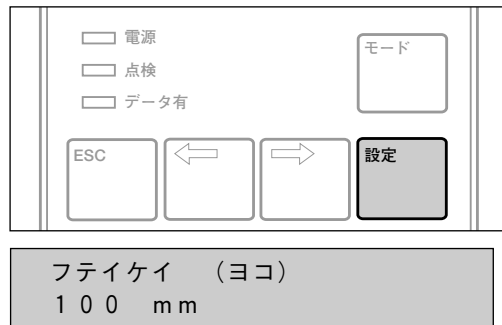


「フテイケイ」(不定形) を選択した場合

手順5で、用紙サイズに「フテイケイ」を選択した場合には、用紙の縦/横のサイズを設定する必要があります。手順5からは、次のように操作してください。

6

設定スイッチを押します。
表示が右のようになります。

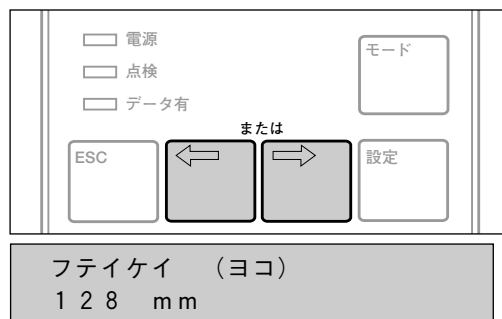


7

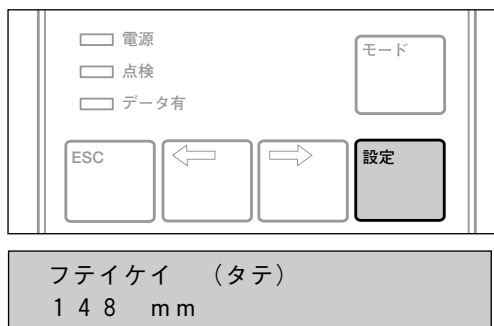
用紙の横サイズを設定します。

←スイッチまたは→スイッチを押して、用紙の横サイズを88~297mmの範囲で設定します。←スイッチを押すと数値が減少し、→スイッチを押すと数値が増加します。

横サイズとは、プリンターに向かって幅を意味します。

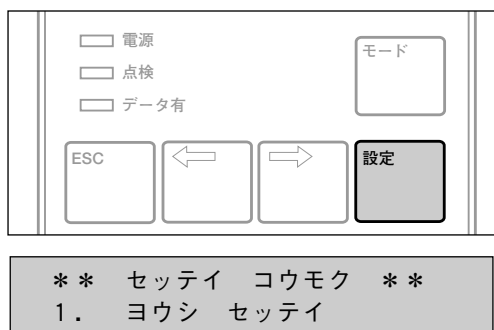


8 設定スイッチを押します。
表示が右のようになります。

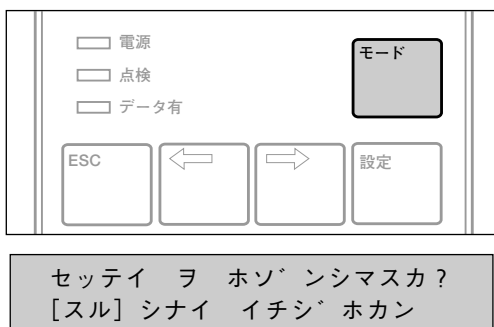


9 用紙の縦サイズを設定します。
横サイズ(手順7)と同様に、用紙の縦サイズを148~420mmの範囲で設定します。

10 設定スイッチを押します。
用紙サイズが設定され、手順1の表示に戻ります。



11 モード・スイッチを押します。
表示が右のようになります。



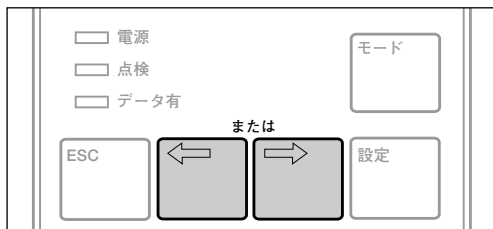
12 ←スイッチまたは→スイッチを押し、設定値の保存方法を選択します。

[スル]：初期値がいま設定した内容に変更されます。

[シナイ]：いま設定した内容が取り消されます。

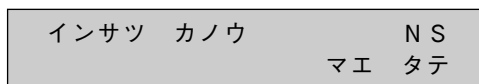
[イチジホカン]：電源スイッチを切るか、リセットするまで、いま設定した内容で印刷されます。いったん電源スイッチを切ったり、リセットした後は、初期値に戻ります。

⇒ 「リセット、印刷の取り消しをするには」
(P.59)



13 設定スイッチを押します。

設定が終了し、印刷可能状態に戻ります。



印刷する

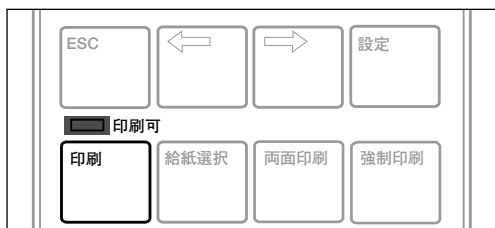
システム・ユニットから送られてくるデータを印刷します。

操作の手順

1

印刷可ランプを確認します。

印刷可ランプが点灯している（印刷可能状態である）ことを確認します。もし、印刷可ランプが消えているときには、印刷スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させます。



インサツ カノウ A 4
C 1 タテ

2

システム・ユニットからデータを送ります。

データが送られると、データ有ランプが点滅し、データ処理が始まります。



データ処理中は右のように表示が変わります。

シヨリチュウ A 4
C 1 タテ

1ページ分（両面印刷時は1枚または2枚分）のデータ処理が終了すると印刷が始まります。

印刷中は、右のように表示が変わります。

インサツ チュウ A 4
C 1 タテ

データがすべて印刷されると、印刷は自動的に終了し、表示が右のようになります。印刷された用紙は、印刷面を下にして排紙トレイに排出されます。

インサツ カノウ A 4
C 1 タテ

MEMO

- ・大量に印刷する場合には、印刷済みの用紙は早めに排紙トレイから取り除いてください。
- ・OHP用紙に印刷している場合には、1枚印刷されるごとに排紙トレイから用紙を取り除いてください。印刷された用紙が重なると、印刷した文字やイメージが写ったり、静電気によって用紙がきちんと重ならず、紙詰まりの原因になります。

印刷を中断するには

印刷を一時中断したり、再開するには、次のように操作します。

印刷を中断するだけでは、印刷を取り消すことはできません。印刷を取り消すには、「リセット」(P.59)を行います。

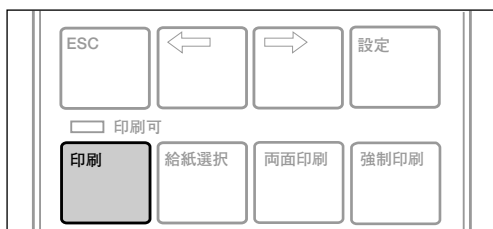
印刷を中断している間には、モード設定を行うことはできません。

操作の手順

1

中断したい時点で印刷スイッチを押します。

印刷可ランプが消えて、印刷不可状態になり、現在印刷中の用紙が排出されたところで印刷が中断します。



表示は右のようになります。



中断した印刷を再開するには

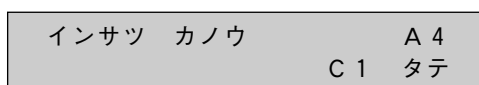
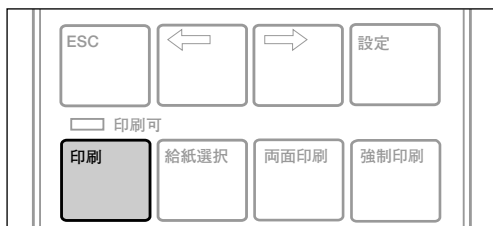
印刷を再開するには、次のように操作します。

操作の手順

1

中断状態で、印刷スイッチを押します。

表示が右のようになり、印刷が再開されます。



ご使用になっているソフトウェアによっては、プリンターが印刷不可状態になると、データをプリンターに送ることを中断して待機するものがあります。その場合には、プリンターの印刷を再開したあと、ソフトウェアからのデータの送信を再開してください。

残ったデータを強制的に印刷するには

データ有ランプが点灯し、「データマチ」が表示されているときには、プリンター内にまだ印刷されていないデータが残っています。強制印刷スイッチを使って、このようなデータを強制的に印刷することができます。

MEMO

データ有ランプが点灯していない（データが残っていない）状態や、点滅している（印刷命令が途中で途切れている）状態で、強制印刷スイッチを使うと、「インサツサレル データハ アリマセン」と表示されるだけです。

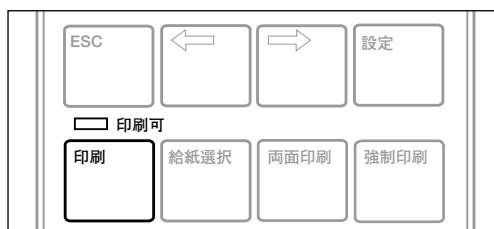
操作の手順

- 1 データ有ランプが点灯していることを確認します。



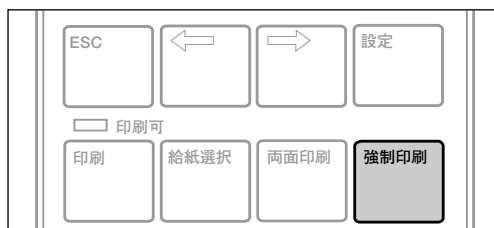
- 2 印刷可ランプが消えていることを確認します。

印刷可ランプが点灯している場合には、印刷スイッチを押して消灯し、印刷不可状態にします。



- 3 強制印刷スイッチを押します。

プリンター内に残っているデータが印刷されます。データがすべて印刷されると、データ有ランプが消えます。



リセット、印刷の取り消しをするには

印刷を取り消します（これは、電源をOFFにして再度ONにしたのと同じことです）。

リセットを行うと、受け取り済みのデータは強制的に消去されますので注意が必要です。

リセットを行うには、リセット・スイッチ（ESCスイッチ＋設定スイッチ）を使います。

大量印刷を途中でやめたい場合や、間違ったデータをプリンターに送った場合には、リセットを行うと、データを取り消すことができるので便利です。ただし、システム・ユニットに対して印刷取消命令を出すわけではありませんので、システム・ユニットからのデータ送信も取り消す必要があります。

⇒ 応用操作編「印刷取消要求」(P.172)

また、リセットを行うと、モード設定や操作パネルで一時的に設定した値は、初期値に戻ります。

操作の手順

1

印刷スイッチを押します。

印刷不可状態になり、表示が右のようになります。

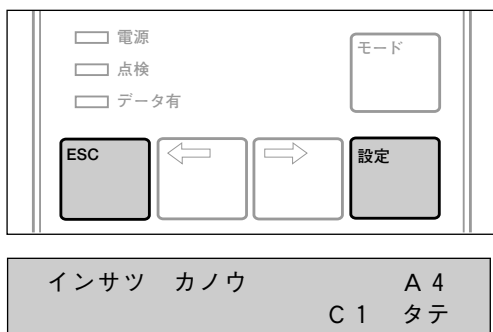


2

ESCスイッチを押しながら設定スイッチを3秒以上押した後、スイッチをはなします。

リセットが行われます。

印刷が取り消され、受け取り済みのデータがある場合には、すべて消去されます。表示は右のようになります。



知っておきたい印刷操作

ここでは、詰まった用紙の取り除きかたや印刷濃度の調整、EPカートリッジの交換など、プリンターをお使いになるうえで必ず知っておいていただきたい手順について説明します。

詰まった用紙を取り除く

プリンター内部で紙詰まりが起きると、点検ランプが点灯し、表示部にメッセージが表示されます。

このような場合には、以降で説明する手順にしたがって、詰まった用紙を取り除いてください。

用紙の詰まった場所によって、表示されるメッセージが異なります。

「カミヅマリ キュウシブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

給紙部からEPカートリッジまでの間、または両面印刷ユニット(別売)内部で紙詰まりが起きています。使用している給紙部(給紙カセットまたは前面給紙トレイ)や、プリンター内部(給紙部からEPカートリッジ間、両面印刷ユニット内部)を点検し、詰まった用紙を取り除きます。

「カミヅマリ ソウチナイブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

給紙部から排紙口までの間で紙詰まりが起きています。プリンター内部(給紙カセットまたは前面給紙トレイから排紙口間)を点検し、詰まった用紙を取り除きます。

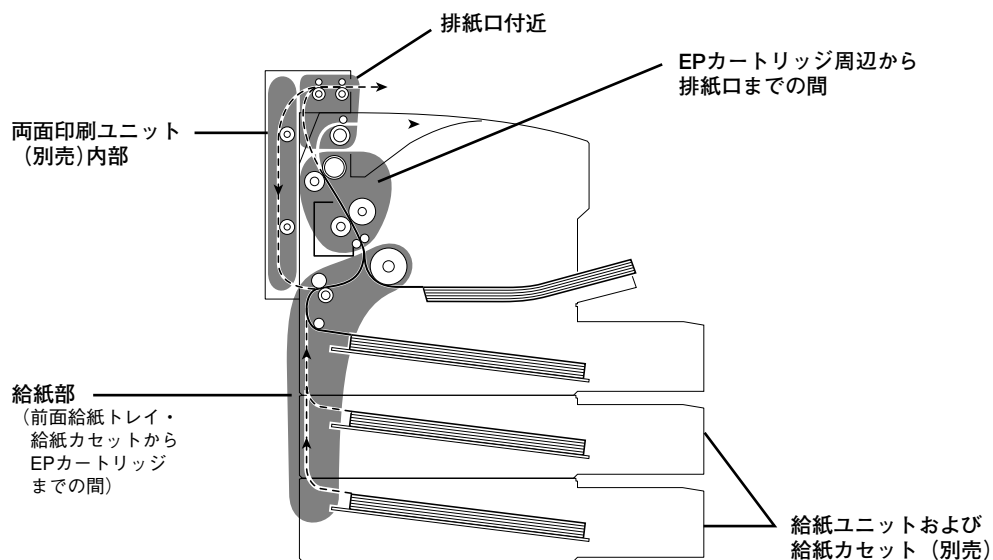
「カミヅマリ ハイシブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

排紙口付近で紙詰まりが起きています。排紙口付近を点検し、詰まった用紙を取り除きます。

「カミヅマリ リョウメンユニット ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

両面印刷ユニット(別売)内部で紙詰まりが起きています。両面印刷ユニット内部を点検し、詰まった用紙を取り除きます。

紙詰まりの起こる場所



なお、紙詰まりを防ぐには、次の点に留意してください。

- ・プリンターは水平に設置してください。
- ・適切な用紙を使用してください。特に、プリンターですでに印刷した紙は、紙詰まりや故障の原因となることがありますので使用しないでください。
 ⇨ 「付録A 用紙について」(P.194)
- ・OHPフィルム、ラベル紙、ハガキは、セットする前によくさばいてください。
- ・給紙カセットや前面給紙トレイに用紙をセットする際、正しくセットしてください。

「カミヅマリ キュウシブ」と表示された場合

「カミヅマリ キュウシブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、給紙部からEPカートリッジまでの間で用紙が詰まっています。次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

カミヅマリ キュウシブ
ヨウシヲ トリダシテクダサイ

注意

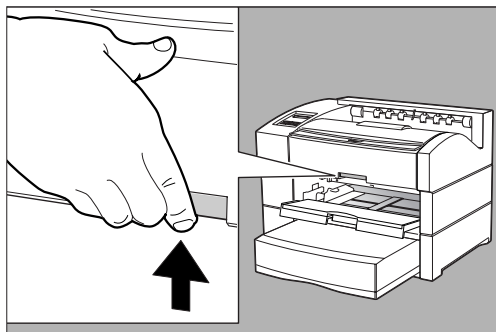
- ・紙詰まりの処理をするときは、定着器内のローラーが高温になっているため、やけどのおそれがあります。定着器内のローラーに触れないよう十分注意して処理してください。
- ・印刷直後は定着器が非常に高温になっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

MEMO

両面印刷ユニット内部で用紙が詰まっている場合は、⇒ 「カミヅマリ リョウウメン ユニット」と表示された場合」(P.75)

操作の手順

- 1 上面カバー開閉レバーを押して、上面カバーのロックを解除します。

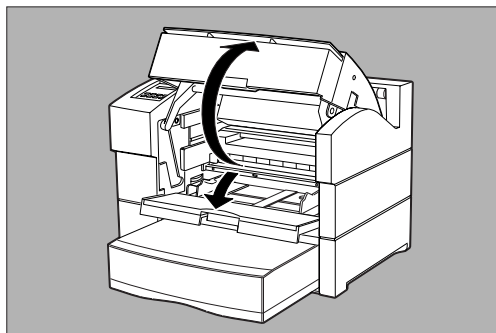


- 2 上面カバーをゆっくりと上後方に開きます。

前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。

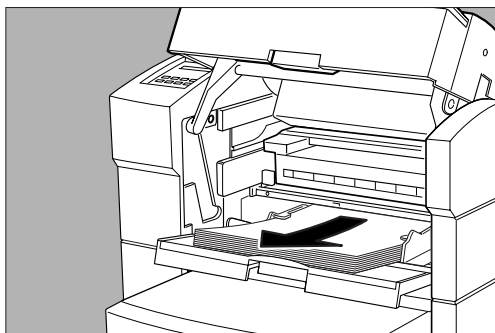


- ・プリンター内部の他の部品に手を触れないでください。
- ・EPカートリッジ保護のため、プリンター内部に直射日光などの強い光を当てないでください。



3

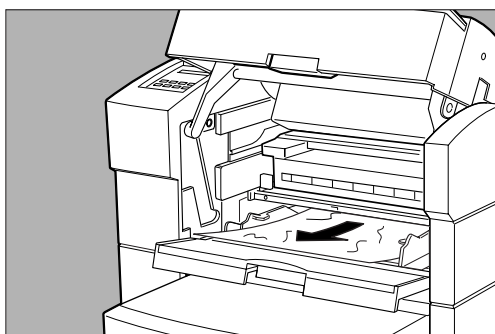
前面給紙トレイから給紙していた場合には、前面給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。



4

前面給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、詰まった用紙があった場合は、取り除きます。

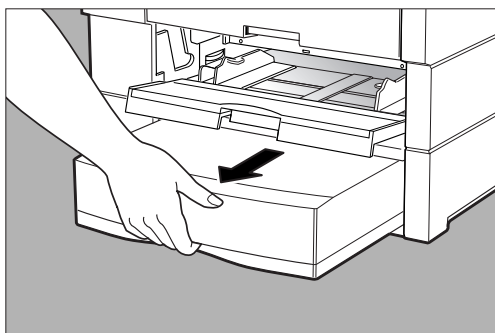
用紙を破らないように気をつけて、矢印の方向へゆっくりと引き抜きます。



5

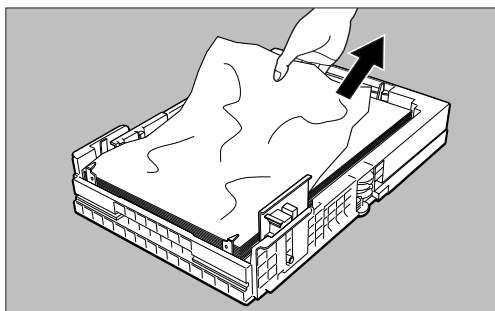
給紙カセットから給紙していた場合には、給紙カセットを取りはずします。

カセットを手前に一度止まるまで引き出し、次に両手で軽く持ち上げながらプリンターから引き抜きます。



6

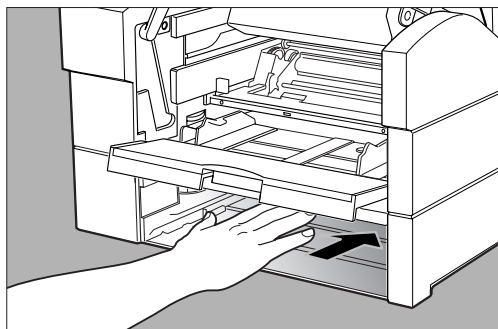
給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合には取り除きます。



7 カセットの奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



内部の部品を破損させないように注意してください。



ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順15へ進みます。

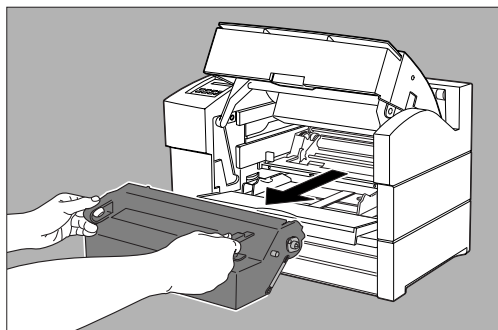
プリンター内部に用紙が残っている場合や、上面カバーを閉じてもエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

8 EPカートリッジを取りはずします。

EPカートリッジを図のように持ち、ゆっくり引き出します。



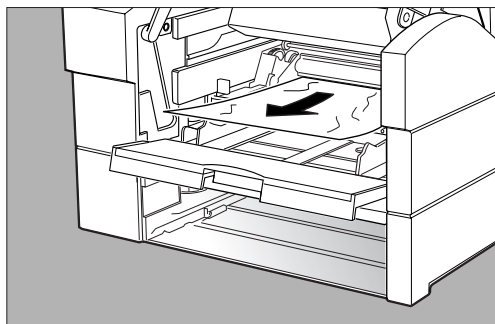
- 取りはずしたEPカートリッジは、直射日光などの強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- EPカートリッジを取りはずすときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。



MEMO

トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。

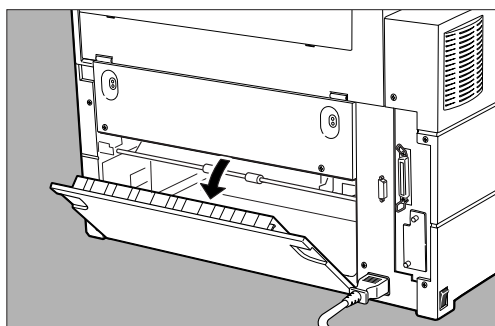
- 9** EPカートリッジを抜き出した奥を点検し、詰まった用紙があった場合は取り除きます。



- 10** プリンター背面下部の背面カバーを開きます。

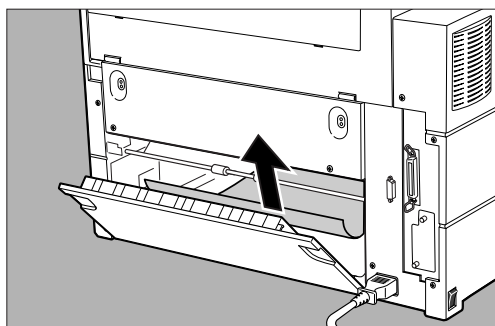


背面カバーは強力なスプリングで自動的に閉まるようになっています。指をはさまないようにご注意ください。



- 11** 詰まっている用紙があった場合は取り除きます。

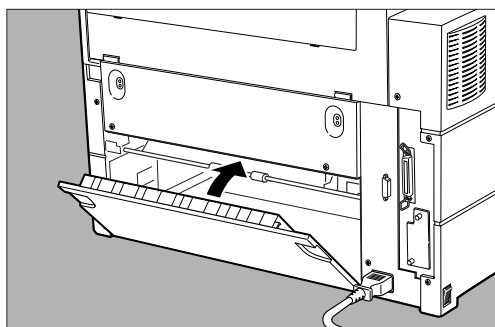
背面カバーが閉まらないよう押さえながら、詰まった用紙を引き出してください。



- 12** 背面カバーを閉じます。



背面カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと印刷不良が発生することがあります。

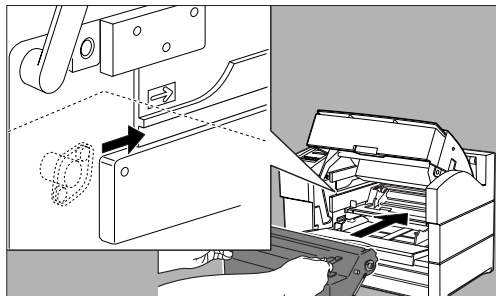


13 EPカートリッジをプリンターに挿入します。

EPカートリッジを図のように両手で持ち、EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部のガイドに合わせて水平にプリンター内部に挿入します。



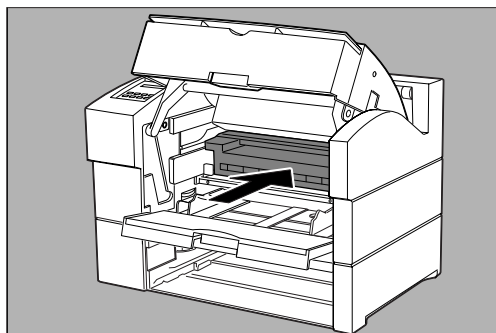
プリンター内部の部品には、手を触れないでください。



14 EPカートリッジを奥まで押し込みます。

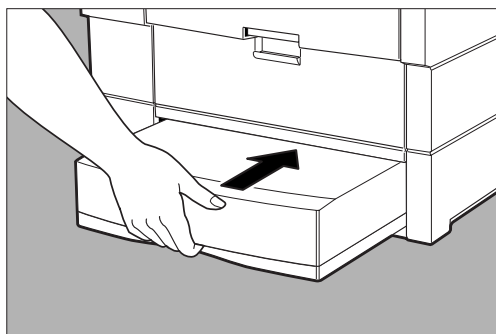


確実にセットされていることを確認してください。



15 給紙カセットをプリンターにセットします。

給紙カセットをプリンターの奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

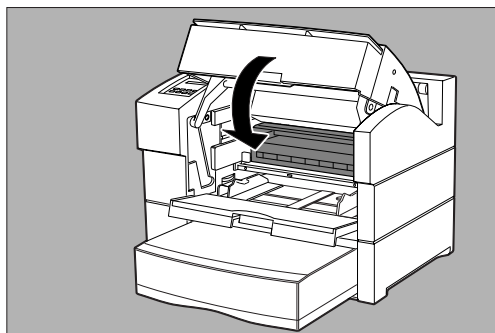


16 上面カバーを閉じます。

上面カバー中央を押して確実にロックして閉じます。



- ・上面カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上面カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出してから、もう一度奥まで挿入し、閉め直してください。
- ・給紙カセットや前面給紙トレイでの紙詰まりの場合でも、上面カバーを一度開けないと紙詰まりは解除されません。
- ・次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。



17 印刷可能状態になります。

エラーとなったページの印刷が行われず。

インサツ	カノウ	A 4
		C 1 タテ



印刷可能状態にならない場合は、詰まった紙が完全に取り除かれていません。再度、手順1からチェックしてください。

「カミヅマリ ソウチナイブ」「カミヅマリ ハイシブ」と表示された場合

「カミヅマリ ソウチナイブ ヨウシヨ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、給紙部から排紙口までの間に用紙が詰まっています。

カミヅマリ ソウチナイブ
ヨウシヨ トリダシテクダサイ

「カミヅマリ ハイシブ ヨウシヨ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、排紙口付近で用紙が詰まっています。次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

カミヅマリ ハイシブ
ヨウシヨ トリダシテクダサイ



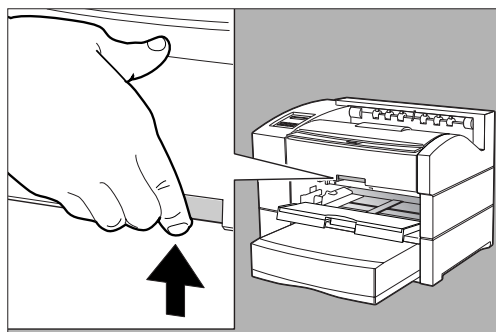
注意

- ・紙詰まりの処理をするときは、定着器内のローラーが高温になっているため、やけどのおそれがあります。定着器内のローラーに触れないよう十分注意して処理してください。
- ・印刷直後は定着器が非常に高温になっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

操作の手順

1

上面カバー開閉レバーを押して、上面カバーのロックを解除します。



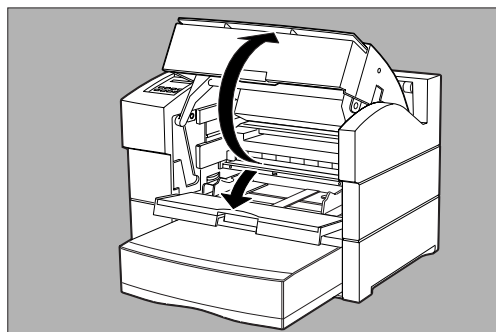
2

上面カバーをゆっくりと上後方に開きます。

前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。

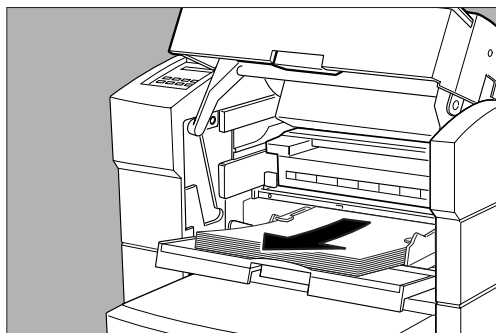


- ・プリンター内部の他の部品に手を触れないでください。
- ・EPカートリッジ保護のため、プリンター内部に直射日光などの強い光を当てないでください。



3

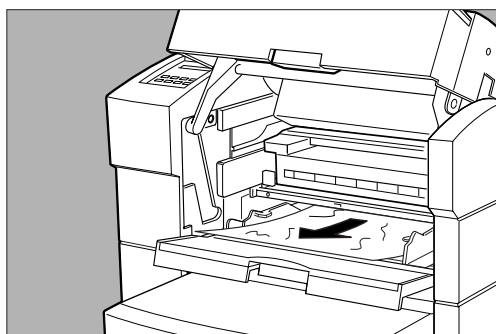
前面給紙トレイから給紙していた場合には、前面給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。



4

前面給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、詰まった用紙があった場合は、取り除きます。

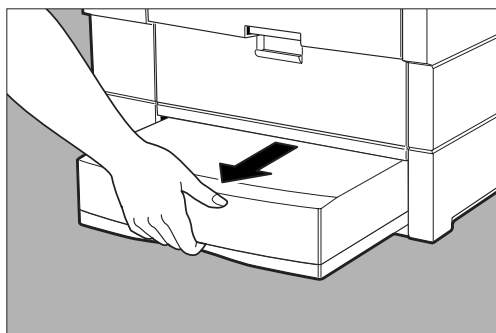
用紙を破らないように気をつけて、矢印の方向へゆっくりと引き抜きます。



5

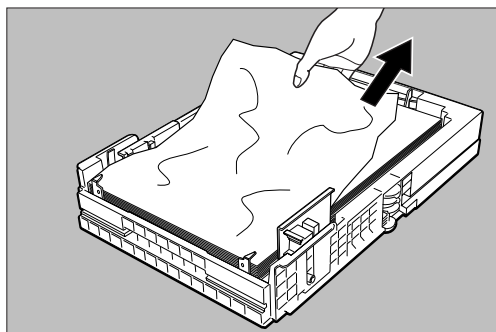
給紙カセットから給紙していた場合には、給紙カセットを取りはずします。

カセットを手前に一度止まるまで引き出し、次に両手で軽く持ち上げながらプリンターから引き抜きます。



6

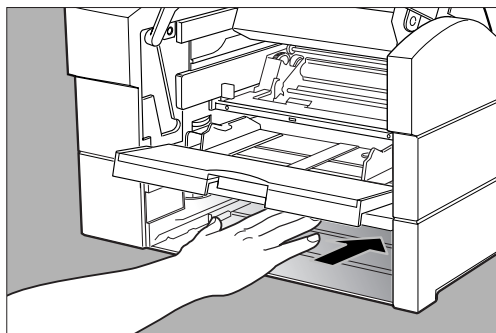
給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合には取り除きます。



- 7 カセットの奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



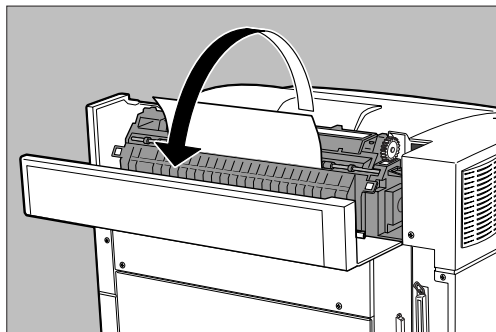
内部の部品を破損させないように注意してください。



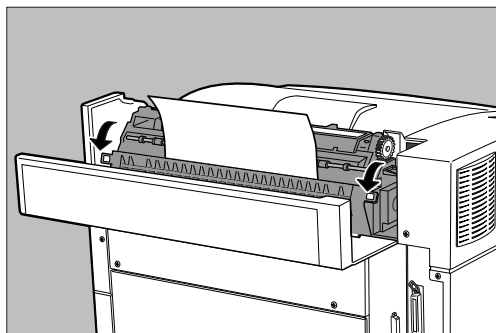
- 8 排紙部カバーを上後方に開きます。

⚠ 注意

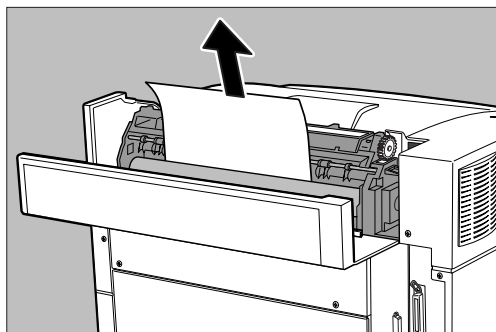
排紙部カバー内部は非常に高温になっています。ここを開く場合は、十分に冷えている状態で行ってください。



- 9 定着器カバーを後方に開きます。



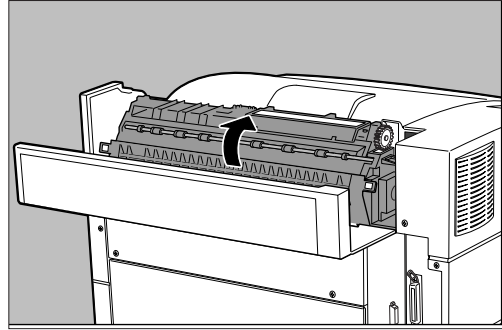
- 10 詰まっている用紙があった場合は取り除きます。



11 定着器カバーを閉じます。



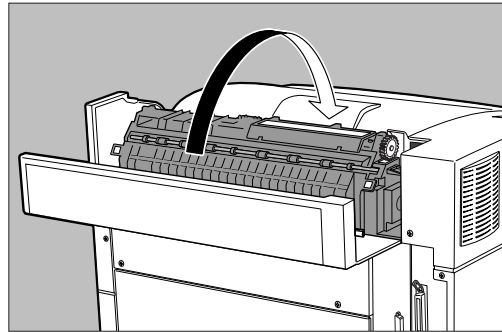
定着器カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。



12 排紙部カバーを閉じます。



排紙部カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。



ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順20へ進みます。
プリンター内部に用紙が残っている場合や、上面カバーを閉じていてもエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

13 EPカートリッジを取りはずします。

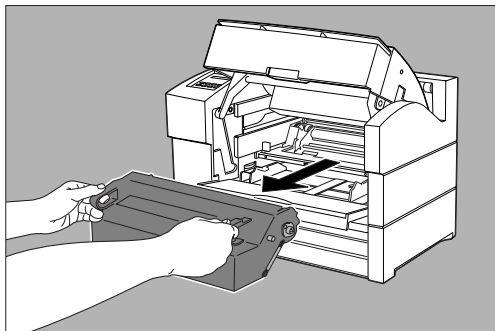
EPカートリッジの図のように持ち、ゆっくり引き出します。



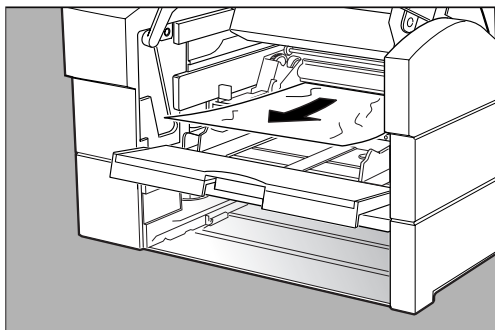
- ・取りはずしたEPカートリッジは、直射日光などの強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ・EPカートリッジを取りはずすときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。

MEMO

トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを置いてください。



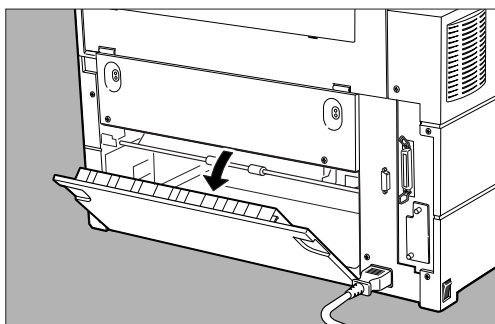
14 EPカートリッジを抜き出した奥を点検し、詰まった用紙があった場合は取り除きます。



15 プリンター背面下部の背面カバーを開きます。

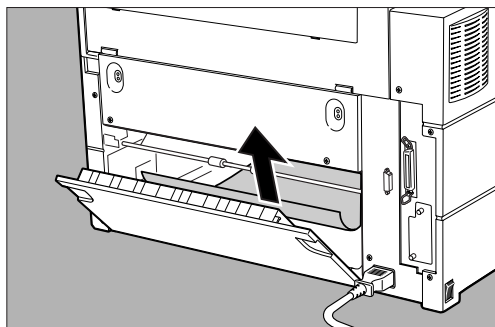


背面カバーは強力なスプリングで自動的に閉まるようになっています。指をはさまないようにご注意ください。



16 詰まっている用紙があった場合は取り除きます。

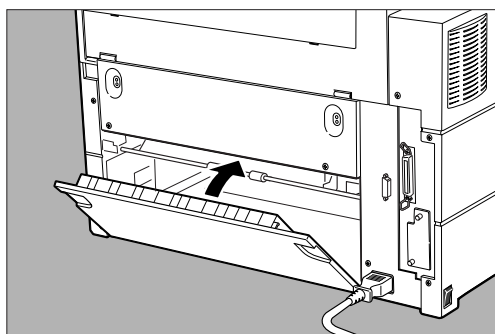
背面カバーが閉まらないよう押さえながら、詰まった用紙を引き出してください。



17 背面カバーを閉じます。



背面カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと印刷不良が発生することがあります。

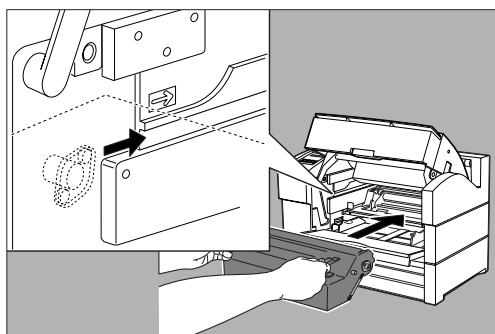


18 EPカートリッジをプリンターに挿入します。

EPカートリッジを図のように両手で持ち、EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部のガイドに合わせて水平にプリンター内部に挿入します。



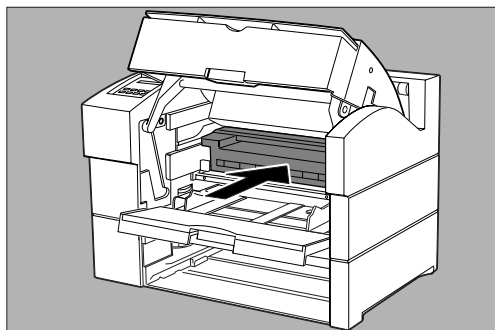
プリンター内部の部品には、手を触れないでください。



19 EPカートリッジを奥まで押し込みます。

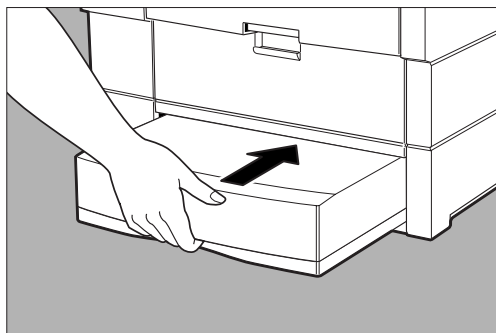


確実にセットされていることを確認してください。



20 給紙カセットをプリンターにセットします。

給紙カセットをプリンターの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

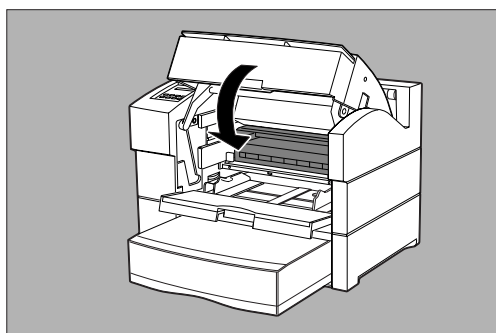


21 上面カバーを閉じます。

上面カバー中央を押して確実にロックして閉じます。



- ・上面カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上面カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出してから、もう一度奥まで挿入し、閉め直してください。
- ・給紙カセットや前面給紙トレイでの紙詰まりの場合でも、上面カバーを一度開けないと紙詰まりは解除されません。
- ・次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。



22 印刷可能状態になります。

エラーとなったページの印刷が行われ
ず。

インサツ カノウ

A 4

C 1 タテ



印刷可能状態にならない場合は、詰まった紙が完全に取り除かれていません。再度、手順1からチェックしてください。

「カミヅマリ リョウメンユニット」と表示された場合

「カミヅマリ リョウメンユニット ヨウシヲ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、両面印刷ユニット(別売)内部で用紙が詰まっています。次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

カミヅマリ リョウメンユニット
ヨウシヲ トリダシテクダサイ

注意

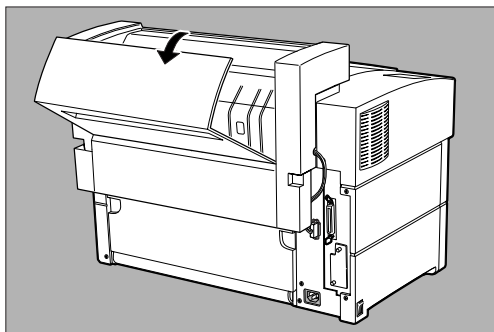
- ・紙詰まりの処理をするときは、定着器内のローラーが高温になっているため、やけどのおそれがあります。定着器内のローラーに触れないよう十分注意して処理してください。
- ・印刷直後は定着器が非常に高温になっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

操作の手順

1

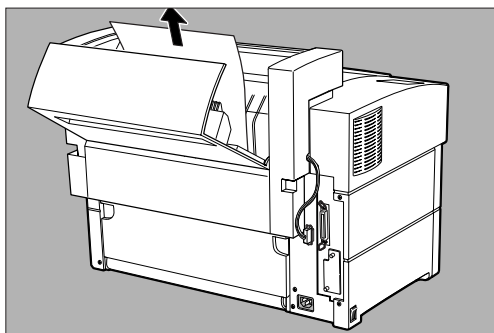
両面印刷ユニットの上部カバーを開きます。

両面印刷ユニットの上部に指をかけて、ユニット上部カバーを手前に開きます。



2

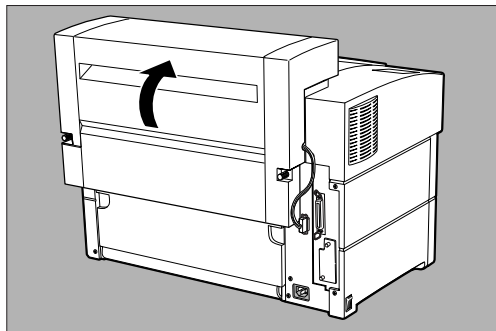
詰まっている用紙の両端をつまんで、用紙をゆっくりと引き抜きます。



3 両面印刷ユニットの上部カバーを閉じます。



カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。

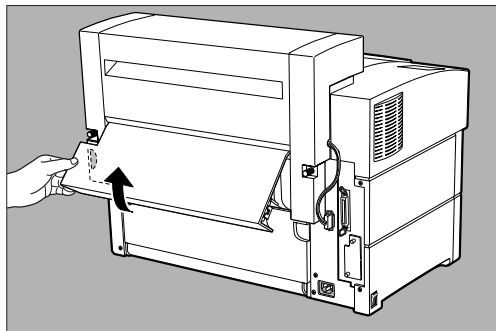


4 両面印刷ユニットの下部カバーを開きます。

両面印刷ユニットの側面に指をかけて、ユニット下部カバーを手前に開きます。



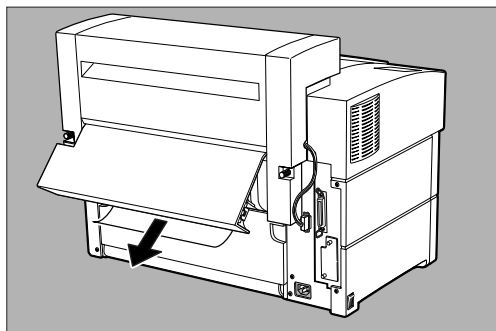
ユニット内部の部品には手を触れないでください。



5 詰まっている用紙の両端をつまんで、用紙をゆっくりと引き抜きます。



印刷されている文字が定着されていない場合、触るとトナーで手が汚れます。

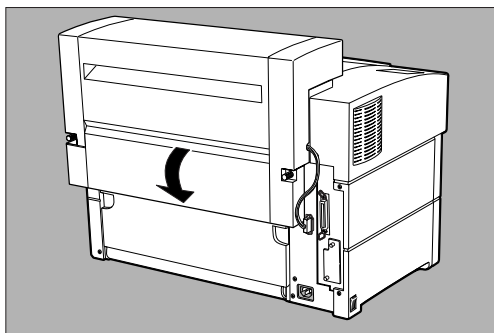


6

両面印刷ユニットの下部カバーを閉じます。



カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。

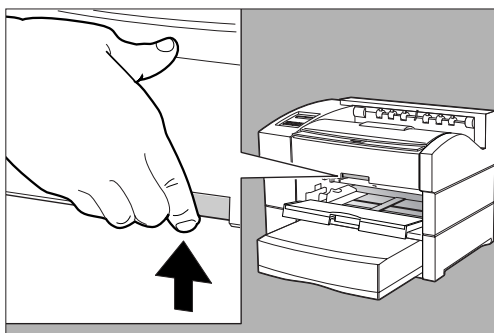


ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、いったん上面カバーを開閉してから、紙詰まりの処理を終了してください。

プリンター内部に用紙が残っている場合や、エラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

7

上面カバー開閉レバーを押して、上面カバーのロックを解除します。



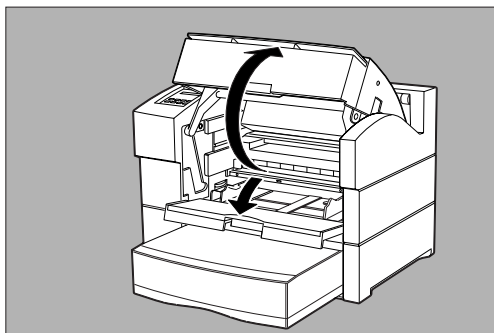
8

上面カバーをゆっくりと上後方に開きます。

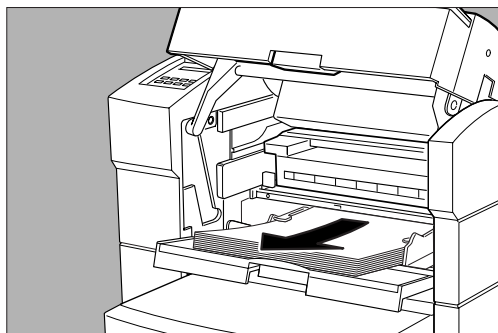
前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。



- ・プリンター内部の他の部品に手を触れないでください。
- ・EPカートリッジ保護のため、プリンター内部に直射日光などの強い光を当てないでください。

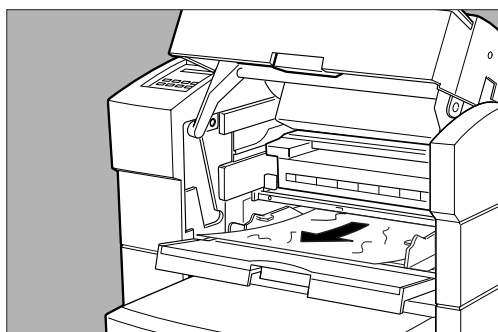


- 9** 前面給紙トレイから給紙していた場合には、前面給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。



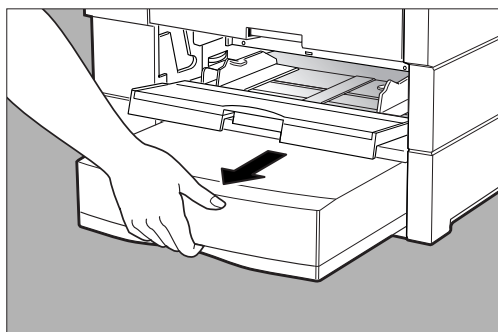
- 10** 前面給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、詰まった用紙があった場合は、取り除きます。

用紙を破らないように気をつけて、矢印の方向へゆっくりと引き抜きます。

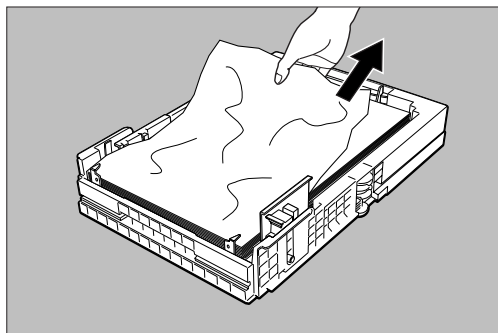


- 11** 給紙カセットから給紙していた場合には、給紙カセットを取りはずします。

カセットを手前に一度止まるまで引き出し、次に両手で軽く持ち上げながらプリンターから引き抜きます。



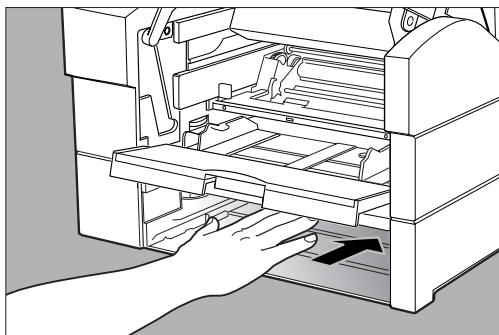
- 12** 給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合には取り除きます。



13 カセットの奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



内部の部品を破損させないように注意してください。



ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順28へ進みます。

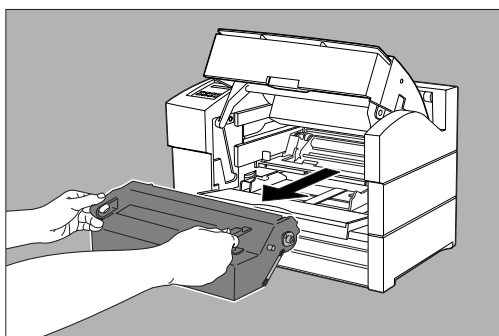
プリンター内部に用紙が残っている場合や、上面カバーを閉じてもエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

14 EPカートリッジを取りはずします。

EPカートリッジを図のように持ち、ゆっくり引き出します。

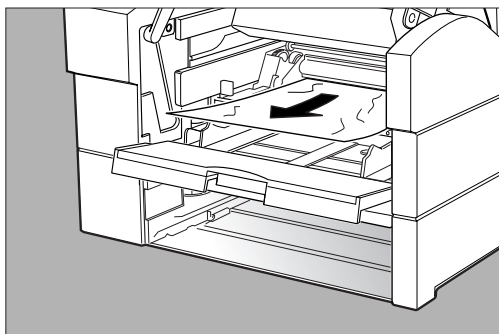


- ・取りはずしたEPカートリッジは、直射日光などの強い光に当たらないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ・EPカートリッジを取りはずすときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中で引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。



トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。

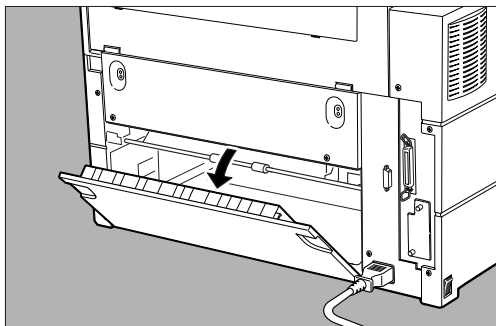
15 EPカートリッジを抜き出した奥を点検し、詰まった用紙があった場合は取り除きます。



16 プリンター背面下部の背面カバーを開きます。

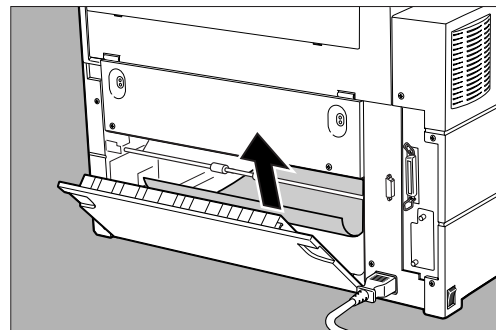


背面カバーは強力なスプリングで自動的に閉まるようになっています。指をはさまないようにご注意ください。



17 詰まっている用紙があった場合は取り除きます。

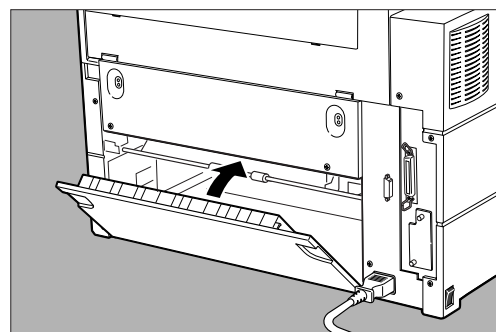
背面カバーが閉まらないよう押さえながら、詰まった用紙を引き出してください。



18 背面カバーを閉じます。



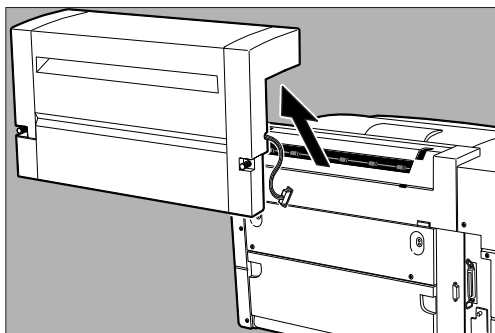
背面カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと印刷不良が発生することがあります。



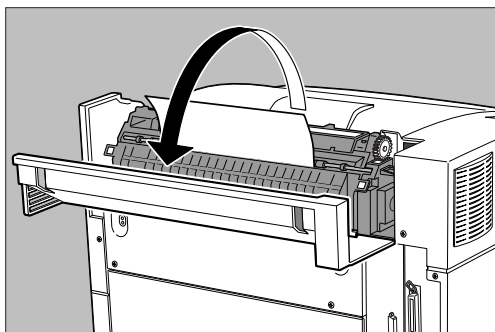
ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順26へ進みます。

プリンター内部に用紙が残っている場合や、上面カバーを閉じてもエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

- 19 電源を切り両面印刷ユニットを固定しているネジをはずし、両面印刷ユニットを取りはずします。

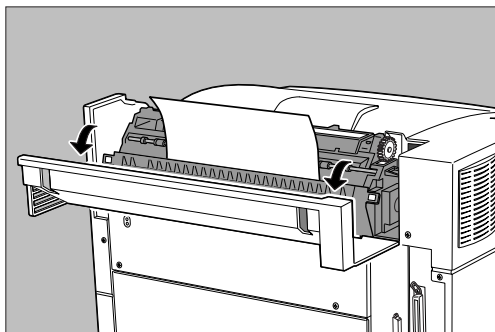


- 20 排紙部カバーを上後方に開きます。

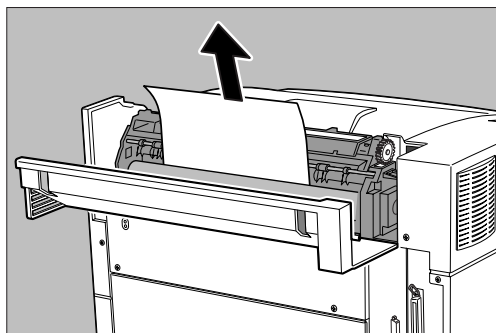


⚠ 注意 排紙部カバー内部は非常に高温になっています。ここを開く場合は、十分に冷えている状態で行ってください。

- 21 定着器カバーを後方に開きます。



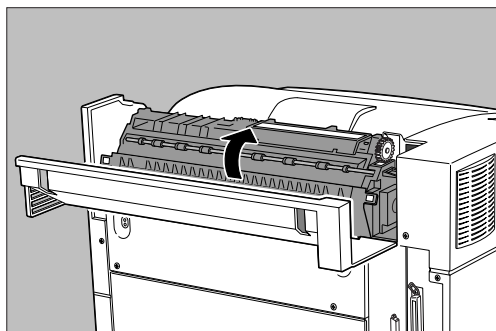
- 22** 詰まっている用紙があった場合は取り除きます。



- 23** 定着器カバーを閉じます。



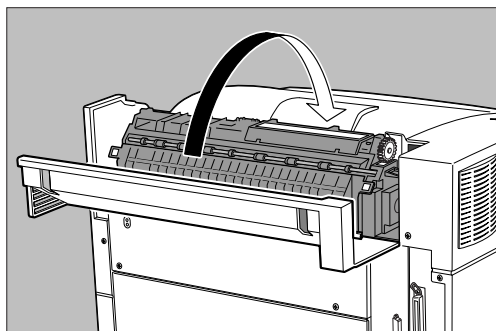
定着器カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。



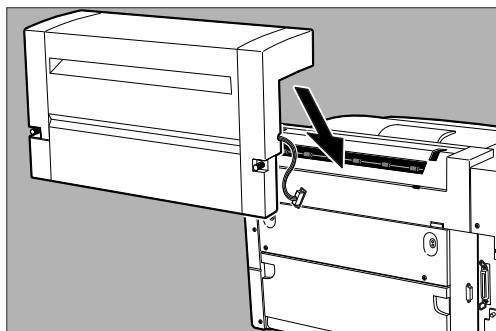
- 24** 排紙部カバーを閉じます。



排紙部カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。



- 25** 両面印刷ユニットを取り付けます。

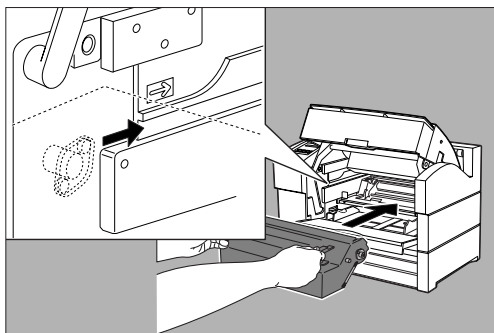


26 EPカートリッジをプリンターに挿入します。

EPカートリッジを図のように両手で持ち、EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部のガイドに合わせて水平にプリンター内部に挿入します。



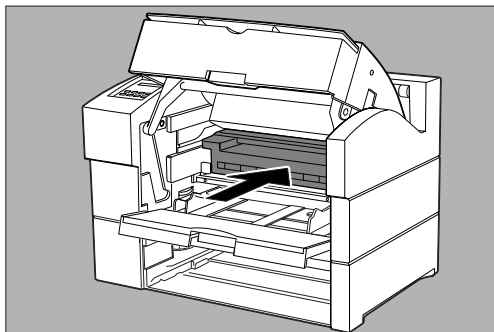
プリンター内部の部品には、手を触れないでください。



27 EPカートリッジを奥まで押し込みます。

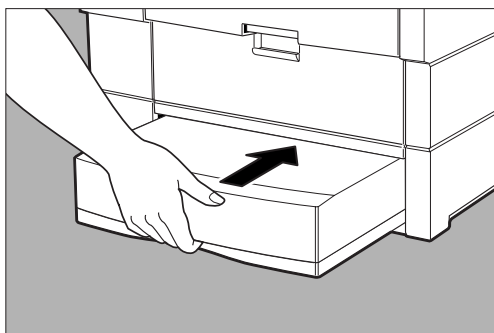


確実にセットされていることを確認してください。



28 給紙カセットをプリンターにセットします。

給紙カセットをプリンターの奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。



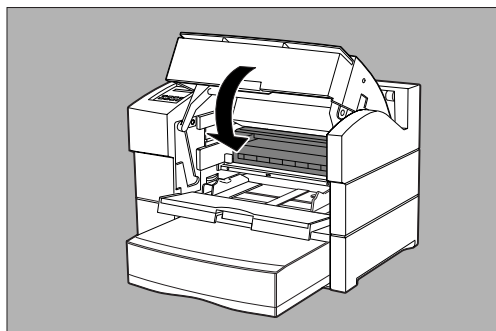
29 上面カバーを閉じます。

上面カバー中央を押して確実にロックして閉じます。

19の操作で電源を切っている場合は、電源を入れてください。



- 上面カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上面カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出してから、もう一度奥まで挿入し、閉め直してください。
- 給紙カセットや前面給紙トレイでの紙詰まりの場合でも、上面カバーを一度開けないと紙詰まりは解除されません。
- 次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。
- 手順19～25を実行された場合、紙詰まりを起こしたページ以降は印刷されません。再度印刷を行ってください。なおネットワーク経由で印刷を行っていた場合、プリント・サーバの印刷ジョブを取り消してから電源を入れてください。



インサツ	カノウ	A 4
		C 1 タテ

30 印刷可能状態になります。

エラーとなったページの印刷が行われず。

ただし、19～25の操作を行なった場合は、エラーとなったページの印刷は行なわれません。システムユニットよりデータを取消し、再度印刷を行なってください。

インサツ	カノウ	A 4
		C 1 タテ



印刷可能状態にならない場合は、詰まった紙が完全に取り除かれていません。再度、手順1からチェックしてください。

印刷濃度を調整する

印刷濃度が濃すぎたり、薄すぎたりする場合には、プリンターの前面給紙トレイを開けた部分にある印刷濃度調整ダイヤルで印刷濃度を調整します。



印刷濃度調整ダイヤルを右にまわしても文字がかすれる場合には、EPカートリッジのトナー残量が少なくなっていることが考えられます。このような場合には、EPカートリッジを交換してください。

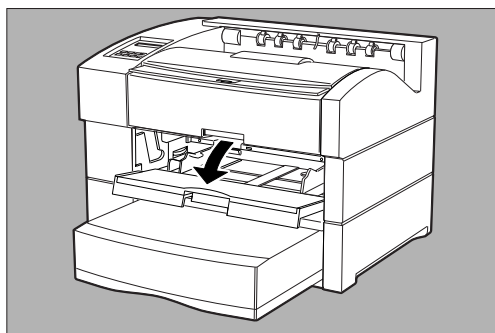
⇒ 「EPカートリッジを交換する」(P.87)

操作の手順

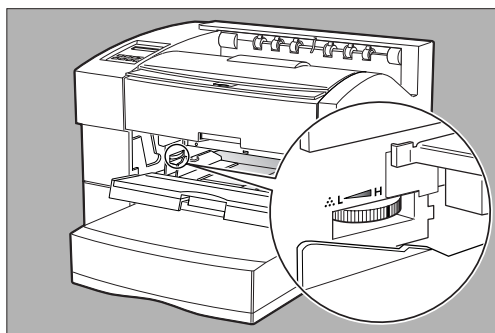
1

前面給紙トレイを開きます。

プリンター前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、前面給紙トレイを手前に開きます。



印刷濃度調整ダイヤルは図の位置にあります。

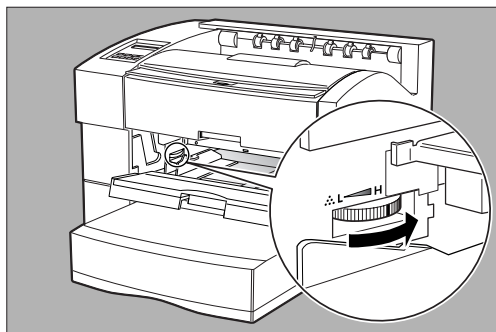


2 印刷濃度調整ダイヤルを回して濃度を調整します。

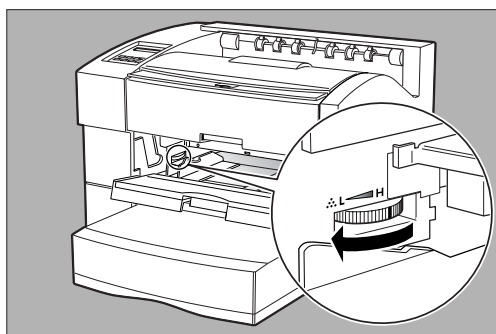
印刷を濃くするには右側に回します。



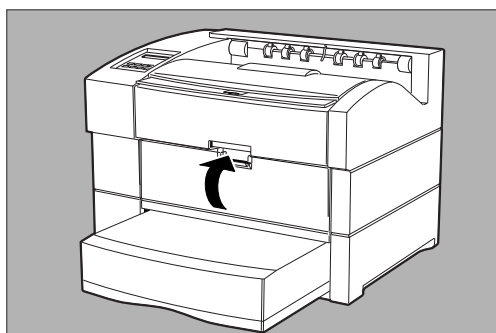
- 印刷濃度調整ダイヤルを濃くした状態で印刷を続けると、トナーの消費量が多くなり、EPカートリッジの寿命が短くなります。
- 印刷濃度を濃くしすぎると、背景部が黒くなるなど画質の劣化が発生することがあります。



印刷を薄くするには左側に回します。



3 前面給紙トレイを閉じます。



EPカートリッジを交換する

点検ランプが点灯し、「EPカートリッジ
コウカン」と表示部に表示されたら、次
の手順で新しいEPカートリッジ（別売）
に交換してください。

EPカートリッジ	コウカン	A 4
	C 1	タテ

EPカートリッジの購入についての説明が「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」(P.199)にあります。参照してください。

EPカートリッジ1本で、A4用紙約10,000ページの印刷が可能です（用紙表面の約5%に黒く印字された部分があり、濃度設定が工場出荷値の場合）。

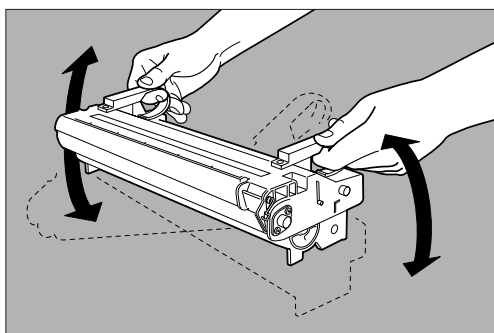
なお、同梱されたカートリッジは6,000ページの設定になっています。

はじめてEPカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

はじめてメッセージが表示された状態ならば、カートリッジを交換しなくても、しばらく印刷できます。

なお、この場合、トナー残量が少ないため、印刷途中から印刷が薄くなっていくことがあるのでご注意ください。

右の図のように、カートリッジを取り出して、ゆっくりと上下させながら左右に5～6回振り、再度セットして、残ったトナーを使用してください。



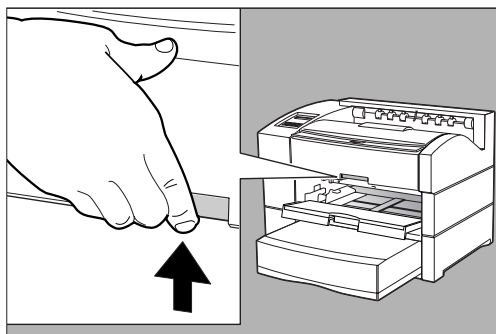
この操作を行っても、まだ印刷が薄くなる場合は、カートリッジを交換してください。



- EPカートリッジは、プリンターにセットするまで、袋から取り出さないでください。
- 袋から取り出したら、できるだけ早く（5分以内）プリンターにセットしてください。
- 直射日光などの強い光（1500ルクス以上）には絶対に当てないでください。
- EPカートリッジの取り付け作業は、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
- ドラム・シャッターにより、EPカートリッジ内の感光体（ドラム）が保護されていますが、感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- EPカートリッジは立てたり、裏返しにして置かないでください。
- カートリッジは、両脇または取っ手を持つようにし、それ以外のところは触れないようにしてください。
- EPカートリッジは、IBM純正品をご使用ください。純正品以外では、良好な印刷が行えないばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。純正品以外のカートリッジでの障害に關しましては、保証の対象外となりますので使用しないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

操作の手順

- 1** 上面カバー開閉レバーを押して、上面カバーのロックを解除します。

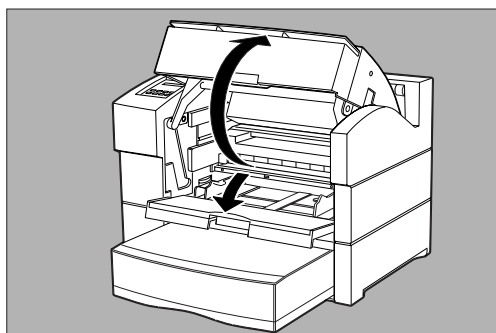


- 2** 上面カバーをゆっくりと上後方に開きます。

前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。



- プリンター内部の他の部品に手を触れないでください。

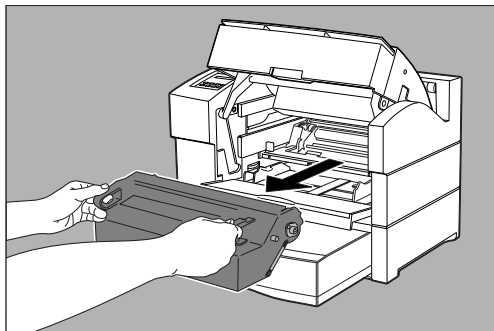


3 EPカートリッジを取りはずします。

EPカートリッジを図のように持ち、ゆっくり引き出します。



EPカートリッジを取りはずすときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。



MEMO

- ・トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。
- ・取りはずしたEPカートリッジは、包装箱やビニール袋などに入れ、不燃物として廃棄することができます。

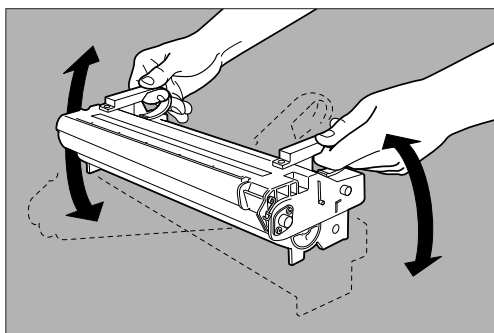
⚠ 危険

EPカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発によって、やけどのおそれがあります。

4 新しいEPカートリッジを梱包から取り出し、ドラム・シャッターの間に入っている用紙を取り除き、図のように7～8回振ります。



トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。また、よく振らないとプリンターの起動時に異常音やEPカートリッジ内部の破損が生じることがあります。

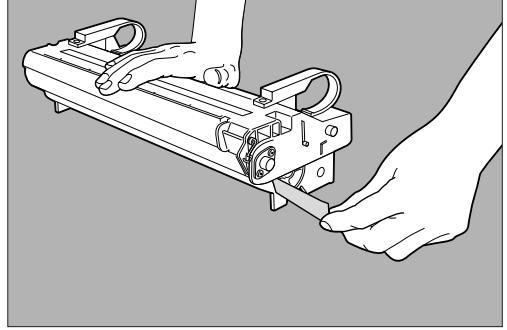


5

EPカートリッジを平らな場所に置き、片手でEPカートリッジを押さえながらもう一方の手でトナー・シールを引き抜きます。



トナー・シールを引き抜くときは、平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中でテープが切れてしまうことがあります。トナー・シールを引き抜いたあとは、EPカートリッジを振ったり、衝撃を与えないでください。



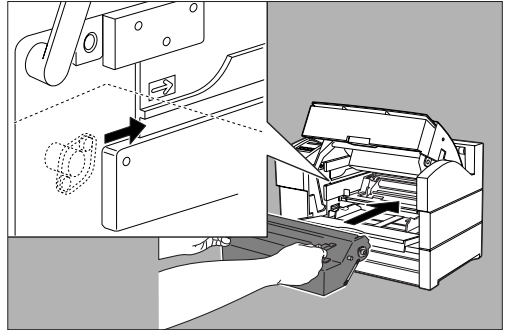
6

EPカートリッジをプリンターに挿入します。

EPカートリッジを図のように両手で持ち、EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部のガイドに合わせて水平にプリンター内部に挿入します。



プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

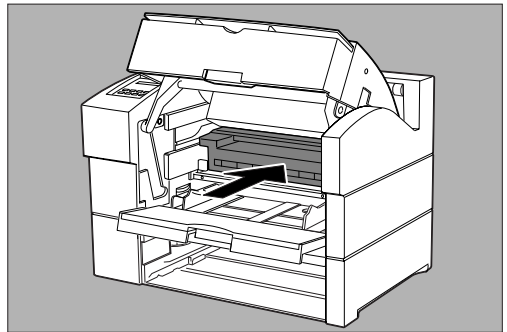


7

EPカートリッジを奥まで押し込みます。



確実にセットされていることを確認してください。



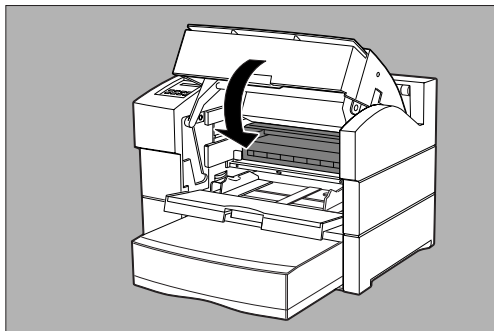
8

上面カバーを閉じます。

上面カバー中央を押して確実にロックして閉じます。



上面カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。



9

前面給紙トレイを閉じます。

